

8C~19Cのトルキスタン

内陸アジアに位置するパミール高原の東西に広がる乾燥地帯と、そこに点在するオアシス都市は、ユーラシア大陸の交易ネットワークの中心として、様々な文化が交錯する場であった。この地は、トルコ化が進むなかで、ペルシア語で「トルコ人の地域」を意味するトルキスタンの名で呼ばれるようになった。トルキスタンの支配をめぐり、その周辺の地域に興った勢力がたびたび進出してきたが、その一方で、トルキスタンに勃興した勢力が、周辺の地域に影響を及ぼすこともあった。

以上のことを踏まえて、8世紀から19世紀までの時期におけるトルキスタンの歴史的展開について既述せよ。解答は解答欄(イ)に20行以内で記し、次の8つの語句をそれぞれ必ず一度は用い、その語句に下線を引くこと。

アンカラの戦い カラハン朝 乾隆帝
宋 トルコ=イスラーム文化 バーブル
ブハラ・ヒヴァ両ハン国 ホラズム朝

解答例

8世紀前半にはイラン系ソグド人が交易に従事し、唐がオアシス都市を支配したが、751年のタラス河畔の戦いでアッバース朝に敗北し後退した。西部では9世紀にイラン系サーマーン朝が自立し、ウイグルの滅亡を機に移動したトルコ系遊牧民のイスラーム化を進めた。タリム盆地に進出したトルコ系勢力が10世紀半ばにカラハン朝を建国し、10世紀末にサーマーン朝を滅ぼすと、この地域のトルコ化とイスラーム化が進展した。12世紀に宋と金により遼が滅ぶと、その一族がカラハン朝を滅ぼし西遼を建国した。13世紀初頭には西部で自立したホラズム朝がイランも支配したが、ナイマンを滅ぼし進出したモンゴル帝国に征服され、トルキスタンはチャガタイ=ハン国の版図となった。14世紀後半には西部にティムール朝が出現し、西アジアも征服してアンカラの戦いでオスマン帝国の再編を促した。イラン人世界も支配したティムール朝の下でイラン=イスラーム文化の影響を受けたトルコ=イスラーム文化が発展した。16世紀初頭にウズベク人によりティムール帝国が滅亡すると、王族のバーブルはインドに進出してムガル帝国を建国した。東部は、18世紀にジュンガルを滅ぼした乾隆帝により清の藩部となり、新疆と称された。19世紀には、インドに進出したイギリスに対抗しつつ南下したロシアが、西部に建国していたウズベク人のブハラ・ヒヴァ両ハン国を保護国とし、イリ事件で清とトルキスタンを二分した。

地中海世界の三分

ローマ帝国の覇権下におかれていた古代地中海世界は、諸民族の大移動を契機として、大きな社会的変動を経験した。その際、新しく軍事的覇権を手にした征服者と被征服者との間、あるいは生き延びたローマ帝国と周辺勢力との間には、宗教をめぐるさまざまな葛藤が生じ、それが政権の交替や特定地域の帰属関係の変動につながることもあった。それらの摩擦を経ながら、かつてローマの覇権のもとに統合されていた地中海世界には、現在にもその刻印を色濃く残す、3つの文化圏が併存するようになっていった。

以上のことを踏まえ、5世紀から9世紀にかけての地中海世界において3つの文化圏が成立していった過程を、宗教の問題に着目しながら、記述しなさい。解答は、解答欄（イ）に20行以内で記し、次の7つの語句をそれぞれ必ず一度は用い、その語句に下線を付しなさい。

ギリシア語 グレゴリウス1世 クローヴィス ジズヤ
聖像画（イコン） バルカン半島 マワーリー

解答例

5世紀に西ローマ帝国の領域でゲルマン人が侵入し建国が進むなか、西ローマ帝国は476年に滅亡した。建国者クローヴィスが正統派のアタナシウス派に改宗したフランク王国は、ローマ系住民の支持を得てアリウス派諸国に優位に立ちガリアを統一した。東ローマ帝国は6世紀に、イタリアの東ゴートと北アフリカのヴァンダルのアリウス派諸国を征服したが、イタリアにはアリウス派のランゴバルドが進出した。こうした中、ローマ教皇グレゴリウス1世は、ゲルマン布教を開始した。7世紀に台頭したイスラーム勢力は、東ローマ帝国からシリア、エジプトを奪い、711年にはイベリア半島の西ゴート王国を滅ぼした。ウマイヤ朝のアラブ人優遇に対する非アラブ人改宗者マワーリーの不满を背景に成立したアッバース朝は、ジズヤを異教徒に限定してイスラーム帝国の性格を強め、アラビア語を共通語としたイスラーム文化圏の形成を進めた。イスラームの聖像崇拜批判に対し、東ローマ帝国は726年に聖像禁止令を発布したが、ゲルマン布教に聖像画を用いたローマ教会は反発してフランク王国に接近し、800年のカール戴冠で西ローマ帝国を復活させた。これにより、ラテン語を共通語とするカトリック文化圏が形成された。一方で東ローマ帝国は、バルカン半島に南下したブルガール人やスラヴ人への布教を進め、コンスタンティノープル教会を中心にギリシア語を共通語とする正教文化圏を形成していった。（596字）

東アジアの国際関係の変容

国際関係にはさまざまな形式があり、それは国家間の関係を規定するだけでなく、各国の国内支配とも密接な関わりを持っている。近代以前の東アジアにおいて、中国王朝とその近隣諸国が取り結んだ国際関係の形式は、その一つである。そこでは、近隣諸国の君主は中国王朝の皇帝に対して臣下の礼をとる形で関係を取り結んだが、それは現実において従属関係を意味していたわけではない。また国内的には、それぞれがその関係を、自らの支配強化に利用したり異なる説明で正当化したりしていた。しかし、このような関係は、ヨーロッパで形づくられた国際関係が近代になって持ち込まれてくると、現実と理念の両面で変容を余儀なくされることになる。

以上のことを踏まえて、15世紀頃から19世紀末までの時期における、東アジアの伝統的な国際関係のあり方と近代におけるその変容について、朝鮮とベトナムの事例を中心に、具体的に記述しなさい。解答は、解答欄（イ）に20行以内で記述しなさい。その際、次の6つの語句を必ず一度は用いて、その語句に下線を付しなさい。また、下の史料A～Cを読んで、例えば「○○は××だった（史料A）。」や、「史料Bに記されているように、○○が××した。」などといった形で史料番号を挙げて、論述内容の事例として、それぞれ必ず一度は用いなさい。

薩摩 下関条約 小中華 条約 清仏戦争 朝貢

史料A

なぜ、（私は）今なお崇禎という年号を使うのか。清人が中国に入って主となり、古代の聖王の制度は彼らのものに変えられてしまった。その東方の数千里の国土を持つわが朝鮮が、鴨緑江を境として国を立て、古代の聖王の制度を独り守っているのは明らかである。（中略）崇禎百五十六年（1780年）記す。

史料B

1875年から1878年までの間においても、わが国（フランス）の総督や領事や外交官たちの眼前で、フエの宮廷は難のためらいもなく使節団を送り出した。そのような使節団を3年ごとに北京に派遣して清に服従の意を示すのが、この宮廷の慣習であった。

史料C

琉球国は南海の恵まれた地域に立地しており、朝鮮の豊かな文化を一手に集め、明とは上下のあごのような、日本とは唇と歯のような密接な関係にある。この二つの中間にある琉球は、まさに理想郷といえよう。貿易船を操って諸外国との間の架け橋となり、異国の珍品・至宝が国中に満ちあふれている。

解答例

15世紀前後の東アジアでは、中華秩序の復興を目指した明の下、貿易は朝貢・冊封関係を結んだ国に限定された。高麗に替わった朝鮮王朝、中山王が統一した琉球は明の冊封を受けてその権威を支配に利用し、明から独立したベトナムの黎朝は朝貢・冊封秩序に組み込まれる一方、国内では帝号を用いた。史料Cに示されるように、琉球は朝貢を利用し、日本や朝鮮との中継貿易で繁栄した。後期倭寇の活動などで明の朝貢・冊封秩序が動揺するなか、17世紀初めに薩摩に征服されると、日本の江戸幕府との両属関係に移行した。明から清に替わるとベトナムの諸王朝や朝鮮は清の冊封を受けた。しかし朝鮮では清を夷として明の最後の年号を継続し、儒教儀礼を守る（史料A）ことで自らを中華とする小中華の動きが起こった。19世紀中葉、清はアヘン戦争で敗北して南京条約で自由貿易を認め、アロー戦争で敗北して北京条約を締結し、対等な国の存在を認めた。ヨーロッパの条約に基づく主権国家間の国際体制を受容した明治日本は、琉球を沖縄県として編入し、朝鮮にも日朝修好条規で主権国家間の外交を強要した。フランスの進出を受けた阮朝は、史料Bのように清との冊封関係で抵抗したが、清は清仏戦争に敗北し、天津条約でベトナムの宗主権を失った。清は朝鮮の壬午軍乱や甲申政変に介入することで冊封の維持を図ったが、日清戦争で敗北し下関条約で朝鮮の宗主権も失ったことで朝貢・冊封秩序は崩壊した。

オスマン帝国の解体過程

1989年（平成元年）の冷戦終結宣言からおよそ30年が経過した。冷戦の終結は、それまでの東西対立による政治的・軍事的緊張の緩和をもたらし、世界はより平和で安全になるかに思われたが、実際にはこの間、地球上の各地で様々な政治的混乱や対立、紛争、内戦が生じた。とりわけ、かつてのオスマン帝国の支配領域はいくつかの大きな紛争を経験し今日に至るが、それらの歴史的起源は、多くの場合、オスマン帝国がヨーロッパ列強の影響を受けて動揺した時代にまでさかのぼることができる。

以上のことを踏まえ、18世紀半ばから1920年代までのオスマン帝国の解体過程について、帝国内の民族運動や帝国の維持を目指す動きに注目しつつ、記述しなさい。解答は、解答欄（イ）に22行以内で記し、必ず次の8つの語句を一度は用いて、その語句に下線を付しなさい。

アフガーニー ギュルハネ勅令 サウード家
セーヴル条約 日露戦争 フサイン=マクマホン協定
ミドハト憲法 ロンドン会議（1830）

解答例

18世紀半ばにアラビア半島で復古主義を説くワッハーブ派がサウード家と結び、ワッハーブ王国を建国する一方、ロシアにクリミア半島を奪われた。ナポレオンのエジプト遠征を機にエジプトでムハンマド=アリーが自立し、民族主義の影響を受けたギリシアは、英仏露の支持でロンドン会議で独立した。オスマン帝国はギュルハネ勅令でタンジマート改革を開始し、法の下での平等を保障するオスマン主義でバルカン諸民族の分離を阻止しようとした。クリミア戦争以降の外債累積で財政が破綻し、さらにギリシア正教徒の保護とパン=スラヴ主義を唱えるロシアの干渉でバルカンの民族運動が活発化すると、オスマン帝国はミドハト憲法を制定して立憲君主政を目指した。アブデュルハミト2世は、露土戦争が勃発すると憲法を停止して専制体制を復活し、ベルリン会議でセルビアなどバルカン半島のキリスト教地域が独立すると、アフガーニーが説いたパン=イスラーム主義を利用して内外のムスリムを統合しようとした。日露戦争の影響で青年トルコ革命が起こり立憲政は復活したが、ブルガリアは独立し、伊土戦争やバルカン戦争で領土が縮小すると、政権内でパン=トルコ主義が強まった。アラブ人などの反発が強まるなか、第一次世界大戦でイギリスはフサイン=マクマホン協定でアラブ民族主義を、バルフォア宣言でユダヤ人のシオニズムを利用した。敗戦により締結されたセーヴル条約では英仏が非トルコ人地域を委任統治領として分割し、パレスチナ問題やシリア内戦など現代の諸問題を準備した。その後、オスマン帝国はトルコ革命で滅亡した。

女性の活動

近現代の社会が直面した大きな課題は、性別による差異や差別をどうとらえるかであった。18世紀以降、欧米を中心に啓蒙思想が広がり、国民主権を基礎とする国家の形成が求められたが、女性は参政権を付与されず、政治から排除された。学問や芸術、社会活動など、女性が社会で活躍する事例も多かったが、家庭内や賃労働の現場では、性別による差別は存在し、強まることもあった。

このような状況の中で、19世紀を通じて高まりをみせたのが、女性参政権獲得運動である。男性の普通選挙要求とも並行して進められたこの運動が成果をあげたのは、19世紀末以降であった。国や地域によって時期は異なっていたが、ニュージーランドやオーストラリアでは19世紀末から20世紀初頭に、フランスや日本では第二次世界大戦末期以降に参政権が認められた。とはいえ、参政権獲得によって、女性の権利や地位の平等が実現したわけではなかった。その後、20世紀後半には、根強い社会差別や抑圧からの解放を目指す運動が繰り返されていくことになる。

以上のことを踏まえ、19～20世紀の男性中心の社会の中で活躍した女性の活動について、また女性参政権獲得の歩みや女性解放運動について、具体的に記述しなさい。解答は、解答欄(イ)に20行以内で記述し、必ず次の8つの語句を一度は用いて、その語句に下線を付しなさい。

キュリー(マリー) 産業革命 女性差別撤廃条約(1979)
人権宣言 総力戦 第4次選挙法改正(1918)
ナイティンゲール フェミニズム

解答例

フランス革命では人権宣言で人間の平等が示されたが、女性の参政権は拒否され、ナポレオン法典では家父長の権限が確立した。産業革命による工場生産は、職業と家庭の分離を促し、家庭に専念する専業主婦が理想とされ、女性の家庭外労働は低賃金労働となって男女格差は拡大した。これに対し、ナイティンゲールはクリミア戦争で看護師としての女性の専門職進出に道を開き、キュリーはラジウムを発見してノーベル賞を受賞し、学界での女性の領域を拡大した。ローザ=ルクセンブルクは社会主義運動に参加し、理論的指導者として活躍した。第一次世界大戦は総力戦となり、銃後の労働力不足から軍需工場に動員されるなど女性の社会進出の契機となった。これを背景に女性の参政権はイギリスではロイド=ジョージ挙国一致内閣のもと第4次選挙法改正で、アメリカではウィルソン政権下で、ロシアではソヴィエト政権下で実現し、ドイツではヴァイマル憲法で規定されたが、社会的不平等は残った。第二次世界大戦はファシズムに対する民主主義の勝利として人権意識を高め、戦後は男女の平等と個人の解放を説くフェミニズムも広がり、アジア・アフリカでの男女格差の状況も注目される中、女性差別撤廃条約が国際連合で採択された。さらに情報化などで経済構造が変化し、職業と家庭の多様なあり方の可能性が広がるなか、性差による役割と差別を解消し、生き方選択の自由を実現するための運動が続いた。(598字)

東西の古代帝国の成立

「帝国」は、今日において現代世界を分析する言葉として用いられることがある。「古代帝国」はその原型として着目され、各地に成立した「帝国」の類似点をもとに、古代社会の法則的な発展がしばしば議論されてきた。しかしながら、それぞれの地域社会がたどった歴史的展開はひとつの法則の枠組みに収まらず、「帝国」統治者の呼び名が登場する経緯にも大きな違いがある。

以上のことを踏まえて、前2世紀以後のローマ、および春秋時代以後の黄河・長江流域について、「古代帝国」が成立するまでのこれら二地域の社会変化を論じなさい。解答は、解答欄（イ）に20行以内で記述し、必ず次の8つの語句を一度は用いて、その語句に下線を付しなさい。

漢字 私兵 諸侯 宗法
属州 第一人者 同盟市戦争 邑

解答例

元老院が指導する共和政の都市国家ローマは、ポエニ戦争に勝利し属州を拡大したが、重装歩兵を担う中小農民が長期の従軍と安価な穀物の流入で没落し、有力者は属州経営と奴隷を用いたラティフンディア経営などで富裕となった。同盟市戦争でローマ市民権がイタリア半島の全自由民に認められ、ローマ市民団は変質しつつ拡大し、公用語のラテン語も地中海に普及した。有力者は没落した無産市民を私兵化して抗争し、三頭政治とカエサルの特裁を経て地中海世界を統一したオクタウィアヌスは、元老院よりアウグストゥスの称号を受けて軍事・政治の最高指導者となったが、市民共同体の理念を尊重し、市民の第一人者を意味するプリンケプスを称した。黄河流域では、宗法で維持される氏族共同体を基盤とする都市国家の邑が、天子を称する周王の下、分権的な封建制の政治秩序で結合していたが、鉄製農具の普及などで農業生産力が向上し、家族単位の農業が可能となると氏族共同体の結束は失われ、封建制は動揺した。諸侯は開発を進めて小農民を掌握し、商業を振興し、諸子百家の思想家が出現するなか実力本位の人材登用を行う富国強兵策をとり、王を称して地域的な領域国家を、長江流域を含めて形成した。法家思想を採用した秦が全国を統一すると、秦王は光り輝く天の支配者を意味する皇帝を称して郡県制による支配を全国に拡大し、篆書に統一された漢字は、官僚による集権的統治に役立てられた。

問題 現代 東アジア・西アジア・中南米

1970年代後半～80年代の政治状況の変化

第二次世界大戦後の世界秩序を特徴づけた冷戦は、一般に1989年のマルタ会談やベルリンの壁の崩壊で終結したとされ、それが現代史の分岐点とされることが少なくない。だが、米ソ、欧州以外の地域を見れば、冷戦の終結は必ずしも世界史全体の転換点とは言えないことに気づかされる。米ソ「新冷戦」と呼ばれた時代に、1990年代以降につながる変化が、世界各地で生まれつつあったのである。

以上のことを踏まえて、1970年代後半から1980年代にかけての、東アジア、中東、中米・南米の政治状況の変化について論じなさい。解答は、解答欄（イ）に20行以内で記述し、必ず次の8つの語句を一度は用いて、その語句に下線を付しなさい。

アジアニーズ（注） イラン=イスラーム共和国 グレナダ

光州事件 サダム=フセイン シナイ半島

鄧小平 フォークランド紛争

（注） アジアの新興工業経済地域（NIES）

解答例

1970年代には資本主義陣営の途上国の一部で開発独裁下の工業化が進み、東アジアの韓国や台湾はアジアニーズとして経済が成長した。韓国では朴正熙暗殺を機に光州事件が起こり、民主化運動は弾圧されたが、その後の民主化の先駆けとなり、台湾でも民主化が進んだ。一方中国では文化大革命が収束し、鄧小平のもと市場経済への転換を図る改革開放政策が行われたが、天安門事件など共産党独裁体制は維持され、北朝鮮でも独裁体制が強化された。中東では、エジプトは対立が続いていたイスラエルとの和平によりシナイ半島の返還を実現したが、アラブ諸国の反発でその盟主の地位を失った。一方、ホメイニにより親米王政が打倒され、シーア派のイラン=イスラーム共和国が成立すると、イラクのサダム=フセインはイラン=イラク戦争を起こし、スンナ派親米諸国の支持を得た。イラクの存在感は高まったが、イスラーム復興運動の高揚、シーア派とスンナ派の対立の激化、イラクの財政悪化は、1990年代以降の中東の混乱の背景となった。中米地域では、ニカラグアやグレナダに左派政権が成立したが、アメリカは後者を打倒するなど干渉を強め、各地で内戦が勃発した。しかし混乱を乗り越えるなかで中米諸国の民主化とアメリカからの政治的自立が進んだ。南米でも、アルゼンチンがイギリスとのフォークランド紛争に敗北して軍事政権が崩壊し、各国の民主化の契機となった。また地域協力の動きもおこった。

13~14c モンゴル・ネットワーク

近年、13~14世紀を「モンゴル時代」ととらえる見方が提唱されている。それは、「大航海時代」に先立つこの時代に、モンゴル帝国がユーラシア大陸の大半を統合したことによって、広域にわたる交通・商業ネットワークが形成され、人・モノ・カネ・情報がさかんに行きかうようになったことを重視した考え方である。そのような広域交流は、帝国の領域をこえて南シナ海・インド洋や地中海方面にも広がり、西アジア・北アフリカやヨーロッパまでをも結びつけた。

以上のことを踏まえて、この時代に、東は日本列島から西はヨーロッパにいたる広域において見られた交流の諸相について、経済的および文化的（宗教を含む）側面に焦点を当てて論じなさい。解答は、解答欄（イ）に20行以内で記述し、必ず次の8つの語句を一度は用いて、その語句に下線を付しなさい。なお（ ）で併記した語句は、どちらを用いてもよい。

ジャムチ 授時暦 染付（染付磁器）

ダウ船 東方貿易 博多

ペスト（黒死病） モンテ=コルヴィノ

解答例

モンゴル帝国は交易を重んじ、オアシスの道と草原の道を確保してジャムチを整備し、ムスリム商人やウイグル商人が活動した。ジャワ遠征後マジャパヒト王国との南シナ海交易も盛んとなり、ダウ船を用いたムスリム商人とジャンク船を用いた中国商人が往来した。元の襲来した博多は日元間の民間貿易の拠点として栄え、イル=ハン国を撃退したエジプトではカーリミー商人がインド洋と地中海を結びイタリア商人は東方貿易で東地中海を介してモンゴルの交易網と結合した。元は運河を開削し、海運も整備して大都を中心とした陸・海を結ぶ広域交易網を築いた。これを基盤に銀を中心とした貨幣経済が発展し、銀と兌換性を持つ交鈔も中国で流通した。日本には銅銭が輸出され、火薬の原料である硫黄と交換された。火薬の製法はヨーロッパへと伝わり、イスラーム世界のコバルトを用いて景徳鎮で生産された染付は、海の道を経由して各地へ輸出された。西欧は東南アジアの香辛料を輸入し銀や毛織物を輸出した。人や情報も行き来し、イスラーム天文学の知識が中国の授時暦の作成に影響し、中国絵画の技法がイランの細密画に影響した。ヴェネツィアのマルコ=ポーロやモロッコ出身のイブン=バットウータが各地の情報を伝え、モンテ=コルヴィノは大都でカトリックを布教した。しかし、この広域ネットワークは、ペストなどの伝播経路ともなり、14世紀中葉には疫病の大流行によってネットワークは寸断された。（600字）

東京大学 2022 2 1a

問題 古代 西アジア

ハンムラビ法典 制定時期・内容特徴

支配や統治には、法や制度が不可欠である。それらは、基盤となる理念や思想と、それを具体化する運動を通じてつくられることが多い。このことに関連する以下の3つの設問に答えよ。解答は、解答欄（口）を用い、設問毎に行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記せ。

問(1) イスラーム教が支配宗教となった地域や国家では、民族や出自にかかわらず、宗教を第一とする統治体制が敷かれることが多かった。ここでは、啓典『クルアーン（コーラン）』と預言者ムハンマドの言行がもとなったイスラーム法が重視された。このことに関する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えよ。

(a) 最古の成文法の一つであるハンムラビ法典は、イスラーム法にも影響を与えたとされる。この法典が制定された時期と、その内容の特徴を、2行以内で説明せよ。

(b) 14世紀に北アフリカの諸王朝に仕え、『世界史叙説（歴史叙説）』を著して王朝の興亡の法則性を説いた学者の名前を記せ。

解答例

(a)前18世紀にバビロン第1王朝でシュメール法を集大成した法典で、同害復讐の原則にたち、当事者の身分により刑罰に差があった。

(b)イブン=ハルドゥーン

東京大学 2022 2 1c

問題 現代 欧州

イラン革命で批判されたそれまでの政策

支配や統治には、法や制度が不可欠である。それらは、基盤となる理念や思想と、それを具体化する運動を通じてつくられることが多い。このことに関連する以下の3つの設問に答えよ。解答は、解答欄（口）を用い、設問毎に行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記せ。

問(1) イスラーム教が支配宗教となった地域や国家では、民族や出自にかかわらず、宗教を第一とする統治体制が敷かれることが多かった。ここでは、啓典『クルアーン（コーラン）』と預言者ムハンマドの言行がもとなったイスラーム法が重視された。このことに関する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えよ。

(c) 1979年のイラン革命では、イスラーム法に通じた宗教指導者（法学者）ホメイニらが中心となり、それまでのイランで推進されていた政策を批判した。このとき批判された政策について、2行以内で説明せよ。

解答例

(c)アメリカと国際石油会社の資本を導入した国王が推進し、土地改革や女性参政権、社会風俗の欧米化などの政策を実施した。

東京大学 2022 2 2a

問題 中世 欧州

大憲章(マグナ=カルタ)作成の経緯

支配や統治には、法や制度が不可欠である。それらは、基盤となる理念や思想と、それを具体化する運動を通じてつくられることが多い。このことに関連する以下の3つの設問に答えよ。解答は、解答欄(口)を用い、設問毎に行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記せ。

問(2) 中世から近世にかけてのヨーロッパでは、多くの国が君主を頂点とする統治体制のもとにあった。君主の権力に関しては、それを強化することで体制を安定させようとする試みや、それが恣意的にならないよう抑制する試みがみられた。

(a) 大憲章(マグナ=カルタ)が作成された経緯を、課税をめぐる事柄を中心に、4行以内で説明せよ。

解答例

(a) イングランド王ジョンはフランス王フィリップ2世に敗北して大陸領の大半を失ったが、貴族に戦争継続のための軍役と戦費負担を要求した。反発した貴族は、課税に貴族と高位聖職者の同意を必要とすることなどを定めた大憲章を作成し、王に署名させた。

東京大学 2022 2 2b

問題 中世・近世 欧州

マキアヴェリが『君主論』で述べた主張

支配や統治には、法や制度が不可欠である。それらは、基盤となる理念や思想と、それを具体化する運動を通じてつくられることが多い。このことに関連する以下の3つの設問に答えよ。解答は、解答欄(口)を用い、設問毎に行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記せ。

問(2) 中世から近世にかけてのヨーロッパでは、多くの国が君主を頂点とする統治体制のもとにあった。君主の権力に関しては、それを強化することで体制を安定させようとする試みや、それが恣意的にならないよう抑制する試みがみられた。

(b) マキアヴェリが『君主論』で述べた主張について、2行以内で説明せよ。

解答例

(b) イタリアの政治的混乱收拾のため、宗教・道徳を政治から切り離し、権謀術数を認め、君主が力で統治することを主張した。

東京大学 2022 2 3

問題 近代 東アジア

変法運動の主張と経緯

支配や統治には、法や制度が不可欠である。それらは、基盤となる理念や思想と、それを具体化する運動を通じてつくられることが多い。このことに関連する以下の3つの設問に答えよ。解答は、解答欄（口）を用い、設問毎に行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記せ。

問(3) 19世紀末の清では、日清戦争における敗北を契機に、国家の存亡を巡る危機意識が高まった。この結果生じた運動について、以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えよ。

(a) この運動の中心となり、後に日本に亡命した2名の人物の名前を記せ。

(b) この運動の主張と経緯を4行以内で説明せよ。

解答例

(a) 康有為、梁啓超

(b) 孔子を政治的改革者とみなし、明治維新を範に立憲政導入も含めた体制変革を目指す変法が主張された。光緒帝の下で改革が断行されたが、性急な施策や独自の儒教解釈は有力官僚や郷紳の支持を得られず、西太后と結んだ保守派による弾圧で挫折した。

東京大学 2021 2 1a

問題 中世 欧州

中世末農民の地位向上の要因

歴史上では、さまざまな社会で、異なる形態の身分制度や集団間の不平等があらわれている。こうした身分や不平等は、批判され、撤廃されていくこともあれば、かたちを変えながら残存することもあった。このことに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに業を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(1) 身分制や身分にもとづく差別の状況は、国家による法整備、あるいは民衆の反乱のような直接的な働きかけでなく、社会的・経済的要因によっても左右されることがある。このことに関する以下の(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 14世紀から15世紀にかけての西ヨーロッパでは、農民による反乱が起こる以前から、農民の地位は向上しはじめていた。その複数の要因を3行以内で説明しなさい。

解答例

貨幣経済の浸透で生産物地代に加え貨幣地代が普及し、農村の自治が拡大して封建的束縛は後退した。寒冷化と黒死病による人口の減少で、賃仕事の収入は増大し、領主は農民の待遇を改善した。(88字)

東京大学 2021 2 1b

問題 近代 欧州

農奴解放後のロシア農民の状況

歴史上では、さまざまな社会で、異なる形態の身分制度や集団間の不平等があらわれている。こうした身分や不平等は、批判され、撤廃されていくこともあれば、かたちを変えながら残存することもある。このことに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(ロ)を用い、設問ごとに業を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(1) 身分制や身分にもとづく差別の状況は、国家による法整備、あるいは民衆の反乱のような直接的な働きかけでなく、社会的・経済的要因によっても左右されることがある。このことに関する以下の(a)・(b)を付して答えなさい。

(b) ロシアの農奴解放令によって農民の身分は自由になったが、農民の生活状況はあまり改善されなかった。それはなぜだったのかを3行以内で説明しなさい。

解答例

農民へは領主取分地以外の土地が有償で分与され、購入資金は政府が有利子で融資した。土地は個人ではなく農村共同体ミールに帰属し、債務を負った農民は領主の土地で小作人としても労働した。(89字)

東京大学 2021 2 2b

問題 近代 南アジア

フィリピン革命と統治体制の変化

歴史上では、さまざまな社会で、異なる形態の身分制度や集団間の不平等があらわれている。こうした身分や不平等は、批判され、撤廃されていくこともあれば、かたちを変えながら残存することもある。このことに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(ロ)を用い、設問ごとに業を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(2) 16世紀後半以降、植民地となっていたフィリピンでは、19世紀後半、植民地支配に対する批判が高まっていた。このことに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 小説『ノリ・メ・タンヘレ(われにふれるな)』などを通じて民族主義的な主張を展開した知識人が現れた。その人物の名前を記しなさい。

(b) 1896年に起きたフィリピン革命によって、フィリピンの統治体制はどのように変化していくか、その歴史的過程を4行以内で説明しなさい。

解答例

スペイン王制下の植民地から独立革命が始まり、米西戦争に際しアギナルドの指導で解放地を拡大した。憲法を制定しフィリピン共和国を樹立したが、米西戦争に勝利して領有権を得たアメリカ合衆国はこれを認めず戦争となり、敗北してその植民地となった。(117字)

東京大学 2021 2 3b

問題 現代 アフリカ

アパルトヘイト

歴史上では、さまざまな社会で、異なる形態の身分制度や集団間の不平等があらわれている。こうした身分や不平等は、批判され、撤廃されていくこともあれば、かたちを変えながら残存することもあった。このことに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに業を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(3) 1990年代、南アフリカ共和国において、それまで継続していた人種差別的な政策が撤廃された。このことに関する以下の(a)・(b)を付して答えなさい。

- (a) この政策の名称を記しなさい。
- (b) この政策の内容、および、この政策が撤廃された背景について、3行以内で説明しなさい。

解答例

白人政権による人種隔離政策で、非白人の選挙権や市民権を剥奪した。冷戦の終結に伴い、国際的な批判が高まり、経済制裁が強化される一方、アフリカ民族会議による抵抗運動が高揚した。(86字)

東京大学 2020 2 1a

問題 古代 東アジア

前3世紀末の匈奴

異なる文化に属する人々の移動や接触が活発になることは、より多様性のある豊かな文化を生む一方で、民族の対立や衝突に結びつくこともあった。民族の対立や共存に関する以下の3つの設問に答えなさい。

問(1) 大陸に位置する中国では、古くからさまざまな文化をもつ人々間の交流がさかんであり、民族を固有のものとする意識は強くなかった。しかし、近代に入ると、中国でも日本や欧米列強との対抗を通じて民族意識が強まっていった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

- (a) 漢の武帝の時代、中国の北辺の支配をめぐる激しい攻防を繰り返した騎馬遊牧民国家の前3世紀末頃の状況について、2行以内で記しなさい。

解答例

(a)匈奴は冒頓単于のもと最盛期を迎え、月氏を討ち中央アジアのオアシス地帯にも進出した。漢の高祖を破り和親策をとらせた。

東京大学 2020 2 1b

問題 近代・現代 東アジア

辛亥革命前後のチベット・モンゴル

異なる文化に属する人々の移動や接触が活発になることは、より多様性のある豊かな文化を生む一方で、民族の対立や衝突に結びつくこともあった。民族の対立や共存に関する以下の3つの設問に答えなさい。

問(1) 大陸に位置する中国では、古くからさまざまな文化をもつ人々間の交流がさかんであり、民族を固有のものとする意識は強くなかった。しかし、近代に入ると、中国でも日本や欧米列強との対抗を通じて民族意識が強まっていった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(b) 清末には、漢民族自立の気運がおこる一方で、清朝の下にあったモンゴルやチベットでも独立の気運が高まった。辛亥革命前後のモンゴルとチベットの独立の動きについて、3行以内で記しなさい。

解答例

(b)清朝の近代化による自治制限や同化政策に不満が高まり、辛亥革命を機に外モンゴルはハルハ地方を中心に活仏が独立を宣言し、チベットはダライ=ラマ13世が独立を布告した。

東京大学 2020 2 2a

問題 近代 欧州・西アジア

スエズ運河とイギリスの介入

異なる文化に属する人々の移動や接触が活発になることは、より多様性のある豊かな文化を生む一方で、民族の対立や衝突に結びつくこともあった。民族の対立や共存に関する以下の3つの設問に答えなさい。

問(2) 近代に入ると、西洋列強の進出によって、さまざまな形の植民地支配が広がった。その下では、多様な差別や搾取があり、それに対する抵抗があった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 図版は、19世紀後半の世界の一体化を進める画期となった一大工事を描いたものである。その施設を含む地域は、1922年に王国として独立した。どこで何が造られたかを明らかにし、その完成から20年ほどの間のその地域に対するイギリスの関与とそれに対する反発とを、4行以内で記しなさい。

解答例

(a)エジプトでスエズ運河が完成すると、イギリスは運河会社の株式を買収して経営に参加し、エジプトの財政破綻に乗じて内政に干渉した。エジプト人が反発し、外国勢力の排除を唱えるウラービー運動が起こると、単独出兵で占領し、エジプトの保護国化を進めた。
(119字)

東京大学 2020 2 2b

問題 近代 オセアニア

白豪主義の形成

異なる文化に属する人々の移動や接触が活発になることは、より多様性のある豊かな文化を生む一方で、民族の対立や衝突に結びつくこともあった。民族の対立や共存に関する以下の3つの設問に答えなさい。

問(2) 近代に入ると、西洋列強の進出によって、さまざまな形の植民地支配が広がった。その下では、多様な差別や搾取があり、それに対する抵抗があった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(b) オーストラリアは、ヨーロッパから最も遠く離れた植民地の一つであった。現在では多民族主義・多文化主義の国であるが、1970年代までは白人中心主義がとられてきた。ヨーロッパ人の入植の経緯と白人中心主義が形成された過程とを、2行以内で記しなさい。

解答例

(b)イギリスは当初流刑植民地としたが、牧羊業の発展で自由移民が増加し、金鉱開発の移民増加時にアジア系労働者が排斥された。

東京大学 2020 2 3a

問題 現代 北米

1920年代アメリカの移民・黒人排斥

異なる文化に属する人々の移動や接触が活発になることは、より多様性のある豊かな文化を生む一方で、民族の対立や衝突に結びつくこともあった。民族の対立や共存に関する以下の3つの設問に答えなさい。

問(3) 移民の国と言われるアメリカ合衆国では、移民社会特有の文化や社会的多様性が生まれたが、同時に、移民はしばしば排斥の対象ともなった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 第一次世界大戦後、1920年代のアメリカ合衆国では、移民や黒人に対する排斥運動が活発化した。これらの運動やそれに関わる政策の概要を、3行以内で記しなさい。

解答例

(a)WASPの保守化を背景に、黒人、ユダヤ系、カトリックを排斥するクークラックスクランが活動を再開した。1924年移民法は東欧・南欧からの移民を制限し、日系を含むアジア系移民を禁止した。

東京大学 2020 2 3b

問題 近代 北米

アメリカ=メキシコ戦争

異なる文化に属する人々の移動や接触が活発になることは、より多様性のある豊かな文化を生む一方で、民族の対立や衝突に結びつくこともあった。民族の対立や共存に関する以下の3つの設問に答えなさい。

問(3) 移民の国と言われるアメリカ合衆国では、移民社会特有の文化や社会的多様性が生まれたが、同時に、移民はしばしば排斥の対象ともなった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(b) アメリカ合衆国は、戦争による領土の拡大や併合によっても多様な住民を抱えることになった。このうち、1846年に開始された戦争の名、およびその戦争の経緯について、2行以内で記しなさい。

解答例

(b)アメリカのテキサス併合にメキシコが反発してアメリカ=メキシコ戦争が勃発し、アメリカが勝利してカリフォルニアを獲得した。(59字)

東京大学 2019 2 1

問題 近代 南アジア

ベンガル分割令

国家の歴史は境界線と切り離せない。境界をめぐる争いは絶え間なく起こり、現地の生活を無視して恣意的に境界線が引かれることも頻繁であった。このことを踏まえて、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記しなさい。

問(1) 19世紀半ば以降、南アジアではイギリスによる本格的な植民地支配が進展した。英領インドを支配する植民地当局は1905年にベンガル分割令を制定したが、この法令は、ベンガル州をどのように分割し、いかなる結果を生じさせることを意図して制定されたのかを3行以内で説明しなさい。

解答例

民族運動の中心だったベンガル州を、ヒンドゥー教徒中心の西ベンガルとイスラーム教徒中心の東ベンガルに分割することで両教徒を対立させ、反英的傾向を強める民族運動の分断を図った。

(86字)

東京大学 2019 2 2a

問題 近代・現代 オセアニア

ドイツ領南洋諸島の変遷

国家の歴史は境界線と切り離せない。境界をめぐる争いは絶え間なく起こり、現地の生活を無視して恣意的に境界線が引かれることも頻繁であった。このことを踏まえて、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（ロ）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(2) 太平洋諸地域は近代に入ると世界の一体化に組み込まれ、植民地支配の境界線が引かれた。このことに関連する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a)地図中の太線で囲まれた諸島が、19世紀末から1920年代までにたどった経緯を2行以内で説明しなさい。

解答例

19世紀末にスペインからドイツが獲得したが、第一次世界大戦中に日本が占領し、戦後国際連盟により日本の委任統治領となった。

(59字)

東京大学 2019 2 2b

問題 現代 オセアニア

ニュージーランドの政治的地位

国家の歴史は境界線と切り離せない。境界をめぐる争いは絶え間なく起こり、現地の生活を無視して恣意的に境界線が引かれることも頻繁であった。このことを踏まえて、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（ロ）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(2) 太平洋諸地域は近代に入ると世界の一体化に組み込まれ、植民地支配の境界線が引かれた。このことに関連する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(b)ニュージーランドが1920～30年代に経験した、政治的な地位の変化について2行以内で説明しなさい。

解答例

イギリス帝国の自治領だったが帝国会議で本国と同等となり、ウェストミンスター憲章によるイギリス連邦の成立で法制化された。

(59字)

東京大学 2019 2 3a

問題 古代 東アジア

4～7世紀の満洲と朝鮮半島

国家の歴史は境界線と切り離せない。境界をめぐる争いは絶え間なく起こり、現地の生活を無視して恣意的に境界線が引かれることも頻繁であった。このことを踏まえて、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(3) 1990年代後半より、中国と韓国の間で、中国東北地方の帰属の歴史的解釈をめぐる対立が生じた。このことに関連する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 当時の韓国の歴史教科書では、韓国史は「満州と韓半島」を舞台に展開した、とされている。その考え方の根底にある4～7世紀の政治状況について、2行以内で説明しなさい。

解答例

東北地方を支配した高句麗は楽浪郡を滅ぼし朝鮮北部に進出して南部の新羅・百済が抗争した。唐と結んだ新羅が両国を滅ぼした。

(59字)

東京大学 2019 2 3b

問題 古代 東アジア

渤海への唐の影響

国家の歴史は境界線と切り離せない。境界をめぐる争いは絶え間なく起こり、現地の生活を無視して恣意的に境界線が引かれることも頻繁であった。このことを踏まえて、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(3) 1990年代後半より、中国と韓国の間で、中国東北地方の帰属の歴史的解釈をめぐる対立が生じた。このことに関連する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(b) 中国は、渤海の歴史的帰属を主張している。その根拠の1つとされる、渤海に対する唐の影響について、2行以内で説明しなさい。

解答例

建国者の大祚榮が唐から冊封を受けた。唐から仏教文化や律令体制を導入し、長安の都城制を模して上京竜泉府を造営した。

(56字)

東京大学 2018 2 1a

問題 古代 南アジア

仏教とジャイナ教の共通の特徴

現在に至るまで、宗教は人の心を強くとらえ、社会を動かす大きな原動力となってきた。宗教の生成、伝播、変容などに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(1) インドは、さまざまな宗教を生み出し、またいくつもの改革運動を経験してきた。古代インドでは、部族社会がくずれると、政治・経済の中心はガンジス川上流域から中・下流域へと移動し、都市国家が生まれた。そして、それらの中から、マガダ国がガンジス川流域の統一を成し遂げた。こうした状況の中で、仏教やジャイナ教などが生まれた。また、これらの宗教はその後に変化を遂げてきた。これに関する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えなさい。

(a) 新たに生まれた仏教やジャイナ教に共通のいくつかの特徴を3行（90字）以内で記しなさい。

解答例

バラモン教の祭式主義やヴェーダの権威を批判し、ヴァルナを否定して平等を説き、修行による輪廻からの解脱を目指した。都市国家の発展で台頭したクシャトリヤ・ヴァイシャの支持を受けた。

東京大学 2018 2 1b

問題 古代 南アジア

ウパニシャッド

現在に至るまで、宗教は人の心を強くとらえ、社会を動かす大きな原動力となってきた。宗教の生成、伝播、変容などに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(1) インドは、さまざまな宗教を生み出し、またいくつもの改革運動を経験してきた。古代インドでは、部族社会がくずれると、政治・経済の中心はガンジス川上流域から中・下流域へと移動し、都市国家が生まれた。そして、それらの中から、マガダ国がガンジス川流域の統一を成し遂げた。こうした状況の中で、仏教やジャイナ教などが生まれた。また、これらの宗教はその後に変化を遂げてきた。これに関する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えなさい。

(b) 仏教やジャイナ教などの新宗教が出現する一方で、従来の宗教でも改革の動きが進んでいた。その動きから出てきた哲学の名称を書きなさい。

解答例

ウパニシャッド哲学

東京大学 2018 2 1c

問題 古代 南アジア

大乘仏教の特徴

現在に至るまで、宗教は人の心を強くとらえ、社会を動かす大きな原動力となってきた。宗教の生成、伝播、変容などに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(1) インドは、さまざまな宗教を生み出し、またいくつもの改革運動を経験してきた。古代インドでは、部族社会がくずれると、政治・経済の中心はガンジス川上流域から中・下流域へと移動し、都市国家が生まれた。そして、それらの中から、マガダ国がガンジス川流域の統一を成し遂げた。こうした状況の中で、仏教やジャイナ教などが生まれた。また、これらの宗教はその後に変化を遂げてきた。これに関する以下の(a)・(b)・(c)の問いに、冒頭に(a)・(b)・(c)を付して答えなさい。

(c) 紀元前後になると、仏教の中から新しい運動が生まれた。この運動を担った人々は、この仏教を大乘仏教と呼んだが、その特徴を3行以内で記しなさい。

解答例

大乘仏教は、戒律に従い修行生活をおくる出家僧侶だけが解脱できるとする上座部仏教を批判し、自身の悟りよりも人々の救済の意義を説く菩薩信仰により、在家信者も含めた衆生の救済を説いた。

東京大学 2018 2 2a

問題 古代 東アジア

雲崗

現在に至るまで、宗教は人の心を強くとらえ、社会を動かす大きな原動力となってきた。宗教の生成、伝播、変容などに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(2) 中国においては、仏教やキリスト教など外来の宗教は、時に王朝による弾圧や布教の禁止を経ながらも、長い時間をかけて浸透した。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 図版1は、北魏の太武帝がおこなった仏教に対する弾圧の後に、都の近くに造られた石窟である。この都の名称と石窟の名称を記し、さらにその位置を図版2のA~Cから1つ選んで記号で記しなさい。

解答例

平城，雲崗石窟，B

東京大学 2018 2 2b

問題 近世 東アジア

典礼問題

現在に至るまで、宗教は人の心を強くとらえ、社会を動かす大きな原動力となってきた。宗教の生成、伝播、変容などに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（ロ）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(2) 中国においては、仏教やキリスト教など外来の宗教は、時に王朝による弾圧や布教の禁止を経ながらも、長い時間をかけて浸透した。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(b)清朝でキリスト教の布教が制限されていく過程を3行以内で記しなさい。

解答例

孔子崇拝や祖先祭祀である典礼を認めるイエズス会の布教方法を、カトリック他派が批判し、教皇が否定した。康熙帝はイエズス会以外の布教を禁止し、雍正帝はキリスト教の布教を禁止した。

東京大学 2018 2 3a

問題 中世 ヨーロッパ

托鉢修道会

現在に至るまで、宗教は人の心を強くとらえ、社会を動かす大きな原動力となってきた。宗教の生成、伝播、変容などに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（ロ）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(3) 1517年に始まる宗教改革は西欧キリスト教世界の様相を一変させたが、教会を刷新しようとする動きはそれ以前にも見られたし、宗教改革開始以後、プロテスタンティズムの内部においても見られた。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を伏して答えなさい。

(a) 13世紀に設立されたフランチェスコ会（フランシスコ会）やドミニコ会は、それまでの西欧キリスト教世界の修道会とは異なる活動形態をとっていた。その特徴を2行（60字）以内で記しなさい。

解答例

托鉢修道会は清貧を重視し、荘園などの資産を否定して土地に縛られず、信徒の喜捨で運営され、都市の民衆に説教活動を行った。

東京大学 2018 2 3b

問題 近世 ヨーロッパ

国教会の成立とカルヴァン派の批判

現在に至るまで、宗教は人の心を強くとらえ、社会を動かす大きな原動力となってきた。宗教の生成、伝播、変容などに関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して答えなさい。

問(3) 1517年に始まる宗教改革は西欧キリスト教世界の様相を一変させたが、教会を刷新しようとする動きはそれ以前にも見られたし、宗教改革開始以後、プロテスタンティズムの内部においても見られた。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を伏して答えなさい。

(b) イギリス国教会の成立の経緯と、成立した国教会に対するカルヴァン派（ピューリタン）の批判点とを、4行（120字）以内で記しなさい。

解答例

離婚問題で教皇と対立したヘンリ8世は首長法で国教会を成立させ、エドワード6世は一般祈禱書でカルヴァン派的な教義を導入した。エリザベス1世は統一法で国教会を確立させたが、カルヴァン派はカトリック的な儀式や司教制度などを折衷した点を批判した。

東京大学 2017 2 1a

問題 中世・近世 欧州

ポーランド人国家

世界史に登場する国や社会のなかで、少数者集団はそれぞれに、多数者の営む主流文化との緊張のうちに独自の発展をとげてきた。各時代・地域における「少数者」に関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記しなさい。

問(1) ポーランド人の国家は14世紀後半から15世紀に隆盛したが、18世紀後半に至ってロシア、オーストリア、プロイセンによって分割された。ポーランド人はそれぞれの大国のなかで少数者となり、第一次世界大戦を経てようやく独立した。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) ポーランド人の国家が隆盛した時期の状況と、その後衰退した背景について、3行（90字）以内で説明しなさい。

解答例

問(1)

(a) カジメェシュ大王による中央集権化の後、ドイツ騎士団に対抗するためリトアニアと合邦してヤゲウォ朝が成立し隆盛したが、その断絶後に選挙王制となり、貴族による分権化と抗争で混乱した。

東京大学 2017 2 1b

問題 近代 欧州

文化闘争

プロイセンの主導でドイツ人の統一国家が成立した際、ポーランド人以外にも有力な少数者集団が、国内の南部を中心に存在した。それはどのような人々であり、当時いかなる政策が彼らに対してとられたか、2行以内で説明しなさい。

解答例

(b)ビスマルクはカトリックの中央党と文化闘争を進め、聖職者の政治参加を抑制し、宗教学校への監督強化などを行った。

東京大学 2017 2 2a

問題 近世 東アジア

清朝の藩部掌握政策

世界史に登場する国や社会のなかで、少数者集団はそれぞれに、多数者の営む主流文化との緊張のうちに独自の発展をとげてきた。各時代・地域における「少数者」に関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記しなさい。

問(2) 史上たびたび、アジアには広域支配を行う国家が登場し、民族的に多様な人々を治めるのに工夫をこらした。また、近代に入ると、国民国家の考え方が、多数派を占める民族と少数派の民族との関係にも大きな影響をもたらした。これらは、今日に至るまで民族の統合や衝突の背景となっている。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 清朝は、藩部を掌握するために、どのような政策をとっていたのか、2行以内で説明しなさい。

解答例

(a)モンゴル、ダライ=ラマ体制下のチベット、ベグが支配する新疆は、理藩院の間接統治を受け、現地の習慣や宗教が尊重された。

東京大学 2017 2 2b

問題 現代 南アジア

シンガポール成立の経緯

世界史に登場する国や社会のなかで、少数者集団はそれぞれに、多数者の営む主流文化との緊張のうちに独自の発展をとげてきた。各時代・地域における「少数者」に関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(2) 史上たびたび、アジアには広域支配を行う国家が登場し、民族的に多様な人々を治めるのに工夫をこらした。また、近代に入ると、国民国家の考え方が、多数派を占める民族と少数派の民族との関係にも大きな影響をもたらした。これらは、今日に至るまで民族の統合や衝突の背景となっている。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(b) 1965年に独立国家シンガポールが成立した。その経緯について、シンガポールの多数派住民がどのような人々だったかについて触れながら、2行以内で説明しなさい。

解答例

英領から独立後マレーシアの結成に加わったが、貿易商などの子孫など中国系住民が主でマレー人優遇策と対立し、分離独立した。(59字)

東京大学 2017 2 3a

問題 近世 北米

ケベック州の言語状況

世界史に登場する国や社会のなかで、少数者集団はそれぞれに、多数者の営む主流文化との緊張のうちに独自の発展をとげてきた。各時代・地域における「少数者」に関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(3) 北アメリカ大陸各地でも、ヨーロッパ人植民以来の発展のなかで様々な少数者集団が生まれた。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) カナダの国土面積の約15パーセントを占めるケベック州では、今日なお半数以上の住民が英語以外のある言語を母語としている。このような状況が生まれる前提となった、17世紀から18世紀にかけての経緯を2行（60字）以内で記しなさい。

解答例

(a) フランスが北米の拠点としてケベック植民地を建設したが、フレンチ=インディアン戦争に敗れパリ条約でイギリスに割譲した。

東京大学 2017 2 3b

問題 現代 北米

南部諸州のアフリカ系住民への差別

世界史に登場する国や社会のなかで、少数者集団はそれぞれに、多数者の営む主流文化との緊張のうちに独自の発展をとげてきた。各時代・地域における「少数者」に関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(3) 北アメリカ大陸各地でも、ヨーロッパ人植民以来の発展のなかで様々な少数者集団が生まれた。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい

(b) アメリカ合衆国では、南北戦争を経て奴隷制が廃止されたが、その後も南部諸州ではアフリカ系住民に対する差別的な待遇が続いた。その内容を1行でまとめ、その是正を求める運動の成果として制定された法律の名称と、そのときの大統領の名前を記しなさい。解答はそれぞれ行を改めて記しなさい。

解答例

州法で黒人の市民権・投票権は制限され、公共施設も分離された。

公民権法

ジョンソン

東京大学 2016 2 1a

問題 中世 西アジア

イクター制

国家の経済制度・政策に関する、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記入しなさい。

問(1) 西アジアでは、イスラームの成立以降、国家や社会のかたちに大きな影響を与える、独特の特徴をもつ経済制度が発展した。これらの精度に関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 10世紀にブワイフ朝が始めた土地・税制度は、同時代に発展した西ヨーロッパの封建制やビザンツ帝国のプロノイア制にも似た特徴をもち、その後のイスラーム諸王朝に受けつがれ、体系化された。この制度の名称を書きなさい。また行を改めて、この制度の特徴について2行以内で説明しなさい。

解答例

(a)イクター制

軍人に対して、従来の俸給にかわって国家が指定する分与地の徴税権を与え、それに応じて軍事奉仕を義務づけた制度であった。（58字）

.....

東京大学 2016 2 1b

問題 近世 欧州・西アジア

カピチュレーション

国家の経済制度・政策に関する、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記入しなさい。

問(1) 西アジアでは、イスラームの成立以降、国家や社会のかたちに大きな影響を与える、独特の特徴をもつ経済制度が発展した。これらの精度に関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(b) 16世紀にオスマン帝国が導入した外国人商人に対する制度は、イスラーム法の理念にもとづき、交易の発展をはかることを目的とした。この制度の名称を書きなさい。また行を改めて、この制度の内容、および後の時代に与えた影響について2行以内で説明しなさい。

解答例

(b)カピチュレーション

帝国内のヨーロッパ人の居住の安全や通商の自由を保障したが、治外法権などの特権はのちに列強の不平等条約の口実となった。(58字)

.....

東京大学 2016 2 2a

問題 近世 南アジア

マンサブダール制

国家の経済制度・政策に関する、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記入しなさい。

問(2) 北インドでは、ティムールの末裔バーブルが、1526年、パーニーパットの戦いでロディー朝に勝利をおさめた。彼がムガル帝国の基礎を築いたとするならば、第3代のアクバルは、中央集権的な制度を整え、ムガル帝国を実質的に建設した人物であった。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) アクバルの時代に整備されたマンサブダール制について2行以内で説明しなさい。

解答例

(a)帝国の官職を等級化し、それに応じて保持すべき騎兵・騎馬数を定め、必要な給与を分与地の徴税権として与えた官僚制であった。(59字)

東京大学 2016 2 2b

問題 近世 南アジア

アウラングゼーブ時代の支配の弱体化

国家の経済制度・政策に関する、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記入しなさい。

問(2) 北インドでは、ティムールの末裔バーブルが、1526年、パーニーパットの戦いでロディー朝に勝利をおさめた。彼がムガル帝国の基礎を築いたとするならば、第3代のアクバルは、中央集権的な制度を整え、ムガル帝国を実質的に建設した人物であった。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(b) 第6代アウラングゼーブの時代には、ムガル帝国の領土は最大となったが、支配の弱体化も進んだ。この支配の弱体化について2行以内で説明しなさい。

解答例

(b)ジズヤ復活などイスラーム強硬策が異教徒の反発をまねき、宮廷貴族の増加で給与地が不足したことで、支配層の離反もまねいた。

東京大学 2016 2 3

問題 近世 欧州

オランダに対する英仏の経済政策

国家の経済制度・政策に関する、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記入しなさい。

問(3) 17世紀のイングランド（イギリス）およびフランスで実施された経済政策について、それらを推進した人物の名や代表的な法令をあげつつ、当時のオランダの動向と関連づけて4行（120字）以内で説明しなさい。

解答例

(3)自由貿易を主張する覇権国家オランダに対抗し、重商主義政策を実施した。イギリスはクロムウェル政権が航海法でオランダの中継貿易を排除し、英蘭戦争で北米植民地を奪った。フランスはコルベールがマニュファクチュアを育成し、保護貿易政策をとった。

東京大学 2015 2 1

問題 中世 欧州

中世末期の身分制議会と君主との関係

国家の法と統治に関する、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(1) ローマ法は、古代末期に編纂された(a)法の集大成を通じて、11世紀に西ヨーロッパで再発見された。その後、ローマ法の影響を受けて、(b)13世紀末～14世紀初頭にイギリスやフランスでは、共通した方向性をもつ代表機関が生まれた。下線部(a)・(b)に対応する以下の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) この法の集大成の編纂を命じた君主の名前①と、編纂の中心にいた法学者の名前②を、それぞれ行を改め、冒頭に①・②を付して記しなさい。

(b)この時期に生まれてくる国政にかかわる代表機関の性格ならびに君主との関係について、その代表機関の名称を1つはあげながら、2行（60字）以内で説明しなさい。

解答例

(a)

①ユスティニアヌス

②トリボニアヌス

(b)

フランス三部会など諸身分の代表による身分制議会が、君主の課税に協賛し、諸団体への課税を可能とする一方、君主を牽制した。

東京大学 2015 2 2a

問題 古代 東アジア

唐代の法体系

国家の法と統治に関する、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(2) 唐の時代の中国では、成文法の体系化が進み、それにもとづいて国家の支配体制が構築された。中央には三省・六部を中核とする官制が整備され、地方には州県制がおこなわれた。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) この時代の法体系は、内容的にみて大きく4種類に区分できる。そのすべての名称と具体的な内容について、2行以内で説明しなさい。

(b)三省は、それぞれ役割を分担しながら国家統治を実現していた。皇帝の発する詔勅は三省の間でどのように処理され、また三省と六部とはどのような関係にあったのか、2行以内で説明しなさい。

解答例

(a)刑法に相当する律、行政法や民法に相当する令を柱とし、補足・改正・臨時法に相当する格、施行細則に相当する式が存在した。

東京大学 2015 2 2b

問題 古代 東アジア

唐代の三省六部の役割

国家の法と統治に関する、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(2) 唐の時代の中国では、成文法の体系化が進み、それにもとづいて国家の支配体制が構築された。中央には三省・六部を中核とする官制が整備され、地方には州県制がおこなわれた。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) この時代の法体系は、内容的にみて大きく4種類に区分できる。そのすべての名称と具体的な内容について、2行以内で説明しなさい。

(b) 三省は、それぞれ役割を分担しながら国家統治を実現していた。皇帝の発する詔勅は三省の間でどのように処理され、また三省と六部とはどのような関係にあったのか、2行以内で説明しなさい。

解答例

(b)中書省が詔勅を立案起草したのち、門下省による詔勅の審議を経て、尚書省が管轄下の六部に役割に応じて詔勅を実施させた。

東京大学 2015 2 3

問題 近代 欧州

ロシア第1次革命と十月宣言

国家の法と統治に関する、以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄（口）を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(3)の番号を付して記しなさい。

問(3) ロシアでは20世紀初頭まで皇帝が専制権力を保持した。これに対して革命運動の指導者や開明的な官僚や知識人は、憲法の制定が専制権力の抑制につながると考えた。以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 『大尉の娘』の作者①は立憲主義的な運動に関心をよせ、専制に批判的な作品を書いた。また、『父と子』の作者②は19世紀前半の農奴解放に影響を与えたが、そうした改革の動きは憲法草案の作成につながっていった。作家①と②の名前を、それぞれ行を改め、冒頭に①・②を付して記しなさい。

(b) 1905年に起こった第1次革命において、自由主義者による立憲主義を理想とする改革要求に対して、皇帝ニコライ2世はどのように対応したか。皇帝が発した文章の名称に触れながら、2行以内で説明しなさい。

解答例

(a)①プーシキン

②トゥルゲーネフ

(b)自由主義者ウィッテの起草した十月宣言で、ドゥーマの開設や憲法制定を約束して自由主義者を懐柔し、革命の鎮静化をはかった。